

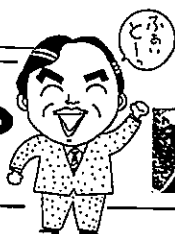
旭川市議会議員

笠木かおる通信

旭川市豊岡5条9丁目1番2号  
TEL.FAX.0166-32-4863

kasagi@potato.hokkai.net

お元気ですか



雪解け、北海道の春。

皆さま、こんにちは。笠木かおるです。  
「かおる通信」70号をお届けします。  
これからも現場の目線で活動し、日常活動の報告と発信に、しっかりと心がけていきます。

旭川市議会議員 笠木かおる

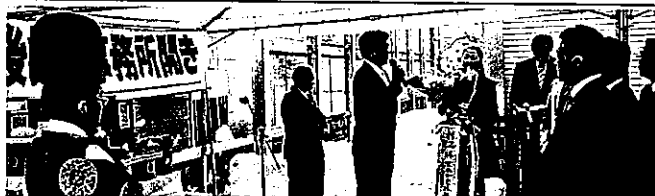


4年の任期を走り続けました。



3月16日、任期中、最後の委員会質疑を行いました。  
4年前、大変厳しい選挙でしたが、多くの皆さまのお力によって「トップ当選」という最高の選挙結果を作り出していただきました。そのことが自分の心の中の「お守り」となってこの4年間、悔いなく議員活動をすすめることができたと思っています。  
自分の活動の原点は「郷土愛」です。これからも、かけがえのない旭川の産業基盤を強くすること、そして、障害をお持ちの方、一人暮らしのお年寄り、子ども、女性、市民みんなの居場所がある、一人の落ちこぼれも無い、そんな旭川の街づくりに向け、西川市政の中で全力を傾けていきたいと決意しています。

◆ 連合後援会事務所開き ◆

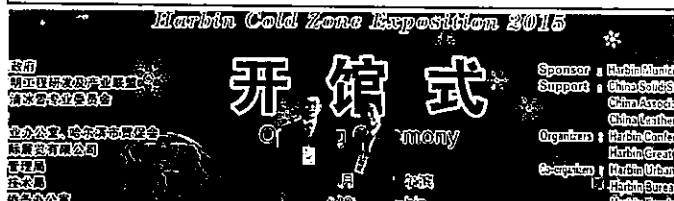


笠木かおる連合後援会（山川博千会長）事務所が豊岡4条6丁目・生野電設さんの建物に移り2月14日、事務所開きが行われました。  
旭川神社・芦原高德宮司による祭事の間、色々な感謝の気持ちが心に浮かび、4月26日の投票日まで穏やかで安全な日々が過ごせるように祈りました。私は、「スポーツ界の選手のように、限界までがんばっていききたい」と決意を述べさせていただきました。  
お近くをお通りの際は是非お立ち寄りくだされば幸いです。

凛とした元旦の朝が好きです。  
今年も1月1日、初当選以来16年間続いている「元旦街宣」を行いました。終わってみれば寒気がしてのどの痛みを覚える新年の幕開けでした。



友好都市 黒龍江省・ハルビン市を訪問。



1月4日から3日間、友好都市の中国・ハルビン市を訪問しました。今回の訪問は、ハルビン市の国際冰雪祭開会式に旭川市議会・日中友好促進議員連盟会長として招待を受けたものです。  
滞在中、ハルビン市人民政府代表との会談、寒地博覧会の視察や寒冷地地域の発展フォーラムへの参加などが続きました。初めてみる国際冰雪祭の氷像群の大きさと美しさは格別で、何よりも出会う人々の「おもてなし」の心に感動するハルビン市訪問でした。

笠木かおる地区後援会新年会のパワー。



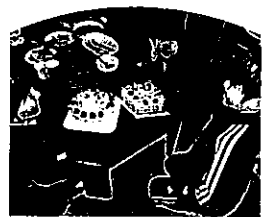
地元の東旭川地区（中川希一会長）、千代田地区（島田昭雄会長）、愛宕地区（中沢義弘会長）、豊岡地区（坂本良作会長）の4つの地区後援会で2月に新年会を開いていただきました。ご案内が十分に行き届かなかったにもかかわらず、地区役員の皆様を中心に、4会場あわせて、360名もの皆様にご出席いただきました。  
新年会を4つの会場で開いていただくようになり10年目になります。一つの会場で行うより、準備などの労力は大変で、スタッフの皆様から感謝申し上げます。

◆ 共生園 ◆



共生園では140名の方々が入所しています。  
農地の野原に1本の杭が打たれたのは15年前。平成14年11月に開設した共生園は、早いもので13年目を迎えています。「共生園で長生きして良かった」、「共生園で働いて良かった」と言われるような共生園づくりに、職員の皆さんと一緒に取り組んでいきます。

【近況】長女・亜以夫婦は「IROZUKI」2号店をオープンさせ、てんてこ舞いの様相。この4月、太志くんは愛宕東小5年生、匡志くんは3年生に進学します。ひなたちゃんは今後もエール保育園でがんばります。ジャマイカ在住の次女・香菜は3月下旬から1ヶ月間、選挙応援のため帰国してくれることになりました。



(答弁) 地元の農業生産者や農業団体、食品関係者などと連携し、地元産品が特長的に学校給食の食材として納入できる環境整備に努めていく。

◆旭川小学校の新築

(笠木) 旭川小学校の建替えについて、27年度の事業内容と建て替えのスケジュールは。

(答弁) 27年度は、連携・一貫教育の推進を視野に、新築にむけての基本設計を行っていききたい。28年度に実施設計、29年～30年度に新築工事を行い、30年の二学期からの供用開始をめざす。

(笠木) 地域や学校関係者の要望を踏まえた設計が必要だ。

(答弁) 基本設計に着手する前の段階で、地域からの意見をいただき、反映させていきたい。

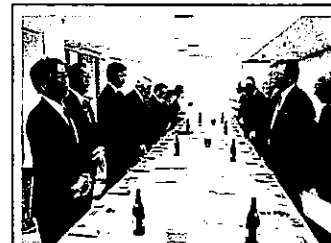
2月3日、旭川神社の豆打ちの儀が斉行されました。かみしもを纏い、はかまを締めると、なぜか身が引き締まる思いがします。14年連続での奉仕。引いたおみくじは「大吉」で、「いままで通りに続けていければ全く安泰な時」と記されていました。がんばります。



このほど、旭川市パークゴルフ協会(谷島公丸会長)の平成27年度総会が開かれました。同協会顧問の立場で、東光スポーツ公園PG場の軽食提供施設や冬の大型室内パークゴルフ場の整備について挨拶いたしました。これからも「パークゴルフで健康づくり」に努めていきます。



1月26日、美容業生活衛生同業組合(篠原楊浩支部長)のニューイヤパーティーでした。高齢化等で美容室に行きたくとも行けない市民が増え続けています。そうした皆さまをどう援助できるのか、熱く語り合いました。訪問理美容サービス制度の新設をめざします。



2月18日、母校・旭商倶楽部(渡辺祐吉会長)の総会・新年会でした。「旭商卒業の名を汚さないようにがんばります」と挨拶させていただきました。会場の温かい空気に酔いしれながら、リラックスした時間が過ぎていきました。

福祉協会新



旭川盲人福祉協会

ペーパン福島県人会

豊岡地区市民委員会

旭正10町内会

老人クラブ寿楽会

東旭川南5町内会



新年度予算を審査する第1回定例会は2月20日に開会し、3月25日までの34日間の会期で開かれました。以下、27年度予算に対する私の質問事項と理事者答弁の要旨を報告します。

◆新庁舎の建替えプラン

(笠木) 複合型の庁舎建設をめざすとしているが、どのような機能を想定しているのか。

(答弁) 公的な事業に携わっている商工会議所や社会福祉協議会、金融機関などとの複合施設が有力。また、電気・ガス・水道などのライフラインの窓口も整備したい。

(笠木) 新庁舎の建設着手はいつか。

(答弁) 市長任期の2018年度までに、建設着手をめざしたい。

◆地方版・総合戦略の策定

(笠木) 先に採択されている「地域活性化モデルケース」に対する国の支援は期待できなくなったのではないか。

(答弁) 引き続き、補助制度や制度改正などについて、国と相談していきたい。

(笠木) 「地域活性化モデルケース」と「地方版・総合戦略」は統合し、整合性をもって事業をすすめるべきではないか。

(答弁) 双方とも、人口減少社会にあって、持続可能な街づくりをすすめるという共通目的があり、モデルケースを十分に勘案しながら、総合戦略を策定していく。

◆国の交付金・補助金制度の活用

(笠木) 200以上ある国の交付金や補助金を積極的に活用し、地域を活性化させるべきだ。

(答弁) その通りだ。

(笠木) 桜岡「古民家・そば村構想」なども国や金融機関に提案し、補助金を最大限活用して実現させていけないか。

(答弁) 交付金事業に合う事業を発掘して、地域を元気にしていきたい。

◆イオンモール旭川駅前と買物公園

(笠木) イオン様との包括連携協定で、期待されるメリットは何か。

(答弁) 地元商店街と連携したイベントの開催、共通利用駐車場制度への参画、全国のイオングループで旭川産品をPRしたりすることが期待できる。

(笠木) イオンモール旭川駅前がグランドオープンするが、中心市街地の活性化にどう生かそうとしているのか。

(答弁) これまで中心部を訪れなかった市民や観光客が来ることが期待でき、買物公園・中心市街地に人が流れる施策を展開していきたい。

◆動物園通り産業団地

(笠木) 第4期工業団地造成について、27年度の事業内容は。

(答弁) 予定地の測量と実施設計、移転補償にかかる不動産鑑定などを行う。

(笠木) 「地方拠点法」に基づき開発行為を行うこととなるが、北海道との協議の進捗状況は。

(答弁) 3月中には同意を得る見通しである。

◆東旭川学校給食共同調理所の建替え

(笠木) 地域に開かれた学校給食センターにする考え方は。

(答弁) 地域住民も利用できるランチルームや調理実習室、見学施設などを整備して、「食の拠点施設」としていきたい。

(笠木) 地産地消の視点で旭川産の使用率を高くする必要があるが。